

大学院生) 就業力自己チェックとBEVIの活用

秋学期の学生プロフィールでは**就業力自己チェック**と、**心理アセスメント BEVI**を実施します。自分の研究活動を見直したり、進路選択の際に利用できます。皆さんの大学院生活をより有意義なものにするツールとして活用してください。

■ 就業力自己チェック

論理的思考力、課題解決力、交渉力、協調性など、どんな職業に就いても共通に必要なとされる基礎的・汎用的スキルを「就業力」と呼びます。と言っても特別なことをしなければ身につけられないスキルではありません。これらは日々の研究活動や周囲の人々との付き合い、アルバイトなどを含め研究生活を通じて少しずつ身につけるスキルです。「就業力」を伸ばすためには、まずどんなスキルが求められているかを意識すること、半年または1年ごとに自分の就業力を確認することが大切です。

就業力自己チェック結果を確認する

学生ポートフォリオへの回答後：

- ① 学務情報システムにアクセスします。
- ② トップページにある「ポートフォリオ」を押します。
- ③ メニューボタンが現れますので、「就業力チェック」を押します。
- ④ 就業力の画面で、「表示」ボタンを押します。

自己チェック結果が2つのグラフに表示されます。

折れ線グラフは、就業力を経済産業省がまとめた「社会人基礎力」に合わせて「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力（12の要素）を36の着眼点ごとに分けたものに、皆さんが自律的にキャリア形成する力を示す「キャリアプランニング能力」を加えたものです。

レーダーチャートは社会人基礎力の3つの能力を12の要素にまとめ一覧しやすくグラフ化したものです。これらグラフでは、過去に自己チェックしたときのスコアも表示できます。半年後または1年後に定期的に自己チェックし、自分の成長度合いを確認するのに役立ちます。

■ 心理アセスメント : BEVI

BEVI : Beliefs, Events, and Values Inventoryは、米国の心理学者グループにより開発されたグローバル・コンピテンシーなどを測るアセスメントです。近年、海外で活躍できる人材が求められていますが、多様な文化的背景を持つ人々との協働に必要なのは言語力だけではありません。むしろ、主体的に異文化に適應する資質、意識や価値観など、日ごろ認識しにくい要素が重要です。

そうした自分では意識しにくい面を自覚するためのツールがBEVIです。冰山モデルをご存知ですか。海面上に見えている部分は冰山の一部に過ぎません。海面下には、さらに大きな何かが隠れています。就業力は自分で自覚しやすい、いわば海面上の冰山の一角です。BEVIはあなたのものの考えかた、価値観、信念など水面下に横たわる、見えない部分の自覚を促すためのものです。

受検結果：個人レポート

BEVIを受検した直後から、BEVIサイト上で受検結果（個人レポート）を閲覧できます。BEVIの個人レポートでは、各尺度の測定スコアは提供されません。これは、スコアの高低にのみに目を奪われて一喜一憂して終わることなく、自分自身の現在のありようを受け止めることが何より大切、という意図からです（実は、次年度からスコアも提供する予定なのですが）。

翻訳調の文章で読みにくい面がありますがご容赦ください。BEVIの設問や個人レポートは英語で作られ、各言語に翻訳しています。できる限り世界共通に同じ表現の設問で受検していただき、結果も同じ表現で伝えたいという意図で、意識は最小限にとどめ原文に忠実な翻訳になっています。

BEVIは7つの尺度であなたの資質、意識や価値観などを測定しています。個人レポートも、その7つの尺度ごとに結果を説明しています。その概要を下表に示します。①②はあなたの深い胸の内にあるもの、③～⑤が社会生活上の基本的傾向、⑥⑦がグローバル・コンピテンシーに相当します。

BEVIの尺度	各尺度の内容
① 形成的変数 ② 中核的な欲求	<ul style="list-style-type: none">あなた自身のアイデンティティ、自己受容性、自尊感情、自己肯定感、開放性、客観的思考、公正な判断などあなたの思考や行動の源にあるものを表す
③ 不均衡の許容	<ul style="list-style-type: none">他者や社会への開放性、レジリエンス、分析力、自己効力感などある出来事に対処する態度の傾向を「確信型」「懐疑型」の2タイプで表す
④ 行動の動機	<ul style="list-style-type: none">批判的・論理思考、課題発見・解決能力、分析力、複眼的視野などものごとを捉える上での思考の傾向を表す
⑤ 自分自身や自分の考え、感情、欲求	<ul style="list-style-type: none">主体性、自己統制力・自律心、好奇心、探求力、創造力、柔軟性など自分の感情や欲求を表出する際の傾向を表す
⑥ 他者の思いや感情	<ul style="list-style-type: none">異文化理解、多様性への寛容、柔軟性、倫理観など宗教、ジェンダー、政治また人種の問題に関する傾向を表す
⑦ より広い世界を知る	<ul style="list-style-type: none">異文化理解・感受性・適応力、チャレンジ精神、チームワーク、コミュニケーション能力、開放性、責任感など環境や自然界に対する姿勢、世界に関与する傾向を表す